

8月には台湾へトップセールスに

津谷市長定例記者会見

津谷市長の定例記者会見が8月4日、市役所で開かれ、臨時議会やとれたて村、台湾のトップセールスなどについて説明しました。

津谷市長は、7月27日の臨時議会について「一般会計の補正予算は、300万円を計上。市内の縫製業者で組織する『WATOGA協同組合』の珪藻土を利用した冷却製品の開発に対し補助するもので、これまでも珪藻土を中心に地下資源の活用を検討してきましたが、今回、財団法人地域総合整備財団『新技術・地域資源開発補助事業補助金』に採択され、具体的な商品開発に取り組むこ



▲定例記者会見で「台湾訪問」などについて述べる津谷市長

とになりました」と説明しました。台湾からの観光客誘致と大館能代空港へのチャーター便の継続を目指す、8月17日から19日までの台湾訪問について「今回の訪問は、大館能代空港所在地の市長として、県からの要請を受けて参加します。今回は秋田県知事、山形県知事も参加し、秋田県と山形県の合同セールスを予定しています。台湾交通部の他、先にチャーター便を運航した航空会社、各旅行会社との面談や懇談が予定されているので、森吉山の四季や世界一の綴子大太鼓など北秋田市の観光を大いにアピールしたい」などと述べ、市の売り込みに意欲を示しました。

また、被災地への職員派遣について「震災の被災地には様々な形で職員を派遣しており、現在は岩手県大船渡市に職員を派遣していますが、先般の新潟、福島の記録的な豪雨により甚大な被害を受けた新潟県三条市にも8月3日から7日までの日程で職員2人を派遣しました。この三条市とは全国水害サミットの繋がりで、このたび職員派遣の要請を受けたものです」と協力支援を報告しました。

台湾訪問などで北秋田市をPR

津谷市長がトップセールス

台湾で北秋田市の魅力をPR

津谷市長が8月17日から19日にかけて台湾を訪問し、北秋田市の観光などをPRしました。

今回の訪問は、台湾と大館能代空港との国際チャーター便の復活と、台湾からの観光客誘客を目的として、秋田県と山形県の空港を利用する観光ルートをPRするため、佐竹敬久秋田県知事と吉村美栄子山形県知事とともに合同セールスを実施したものです。

17日は、佐竹知事とともに、台湾で大型ショッピングモールやスーパーマーケットを展開している「微

風広場」と「シテイスーパー」を訪問し、秋田県産物の安全性を説明するとともに、北秋田市産の生産物の販路拡大の可能性を探り北秋田市のPRを行いました。

18日は、先にチャーター便を運航した「復興航空」をはじめ、「中華航空」「エバー航空」、そして台湾交通部観光局を佐竹・吉村両知事とともに訪問。大館能代空港所在地の市長として、チャーター便の復活と北秋田市の魅力を積極的に売り込みました。各航空会社とも、「3月の東日本大震災による影響は大きかったが、8月頃には平年並みに回復してきている。秋田と山形をうまく結びつけられる観光ルートを検討したい」とのことで、今後にむけた協力関係を図るための意見交換を行いました。

また、同日夕方からは、台北市内の航空会社や旅行会社をはじめ、観光業界の関係者約100人を一堂に集めた「秋田県・山形県観光情報交流会」に出席し、開会前の地元メディアとの記者会見をはじめ、交流会での北秋田市観光情報のプレゼンテーションで広く北秋田市をPRしました。関係者からは、「思ったよりも北



▲台湾交通部観光局で北秋田市の魅力を売り込む津谷市長

市長ダイアリー

◇ 7月16日～8月15日

- 7月20日(水)▽農業委員会総会(本庁舎)▽平成23年度北秋田市周辺衛生施設組合議会7月定例会(衛生センター)
- 21日(木)▽東北水泳連合理事会(県立総合プール)
- 22日(金)▽第66回東北水泳大会開会式(県立総合プール)
- 24日(日)▽平成23年度秋田県消防協会大館北秋田支部消防訓練大会(阿仁アーチェリー会場)
- 25日(月)▽北秋田市地域医療連携協議会(北秋田市民病院)
- 26日(火)▽主幹級職員との意見交換会(本庁舎)
- 27日(水)▽平成23年度北秋田市第3回臨時議会(議事堂)▽市行政と商工会との懇談会(みよし)
- 28日(木)▽「あきた名物 内陸線！トコトコ鉄道」オリジナルフレィム切手贈呈式(阿仁合駅)▽森吉山スキー場管理運営協議会(北秋田市振興局)▽平成23年度秋田県自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会秋田県支部合同総会(秋田市)
- 29日(金)▽北秋田市建設業協会簡易トイレ寄贈目録贈呈(本庁舎)▽秋田県史跡整備市町村協議会総会(秋田市)▽平成23年度秋田県・市町村協働政策会議第1回総会(秋田市)
- 30日(土)▽森吉山ダム四季美湖誕生祭オープニングセレモニー(森吉山ダム広報館)
- 31日(日)▽白根次男氏叙勲受章祝賀会(大館市)
- 8月1日(月)▽(社)日本治山治水協会監査会(東京都)
- 2日(火)▽森吉山ダム調整会議(本庁舎)
- 4日(木)▽主幹級職員との意見交換会(本庁舎)
- 5日(金)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議・同組合議会(森吉庁舎)▽北秋田市農業再生協議会設立総会(本庁舎)
- 8日(月)▽(社)日本地山治水協会理事会・通常総会(東京都)
- 9日(火)▽新潟県十日町市視察(新潟県)
- 10日(水)▽新潟県見附市・三条市訪問(新潟県)
- 11日(木)▽9月補正予算市長査定(本庁舎)▽小山芳明氏CD「綴子太鼓」及び図書券寄贈(本庁舎)
- 12日(金)▽白川好光氏著書「人生の参考書」寄贈(本庁舎)▽被災地派遣職員報告(本庁舎)
- 14日(日)▽第55回市民盆踊り大会(鷹巣銀座通り商店街)
- 15日(月)▽平成23年度北秋田市成人式(文化会館)



▲「復興航空」で大館能代空港や北秋田市をPRする津谷市長

秋田市が近いことに驚いたし、雪や豊かな自然と食べ物にも関心がある」などの声があり、たくさんの方々の台湾の方々に北秋田市を知っていただく良い機会となりました。

アンテナショップで北秋田市を売り込む

津谷市長が8月16日に東京都三鷹市にある「東日本応援ショップ」を訪問しました。

同ショップは、三鷹市の第三セクターである「株式会社まちづくり三鷹」が東日本大震災による被災地を応援しようと7月28日から平成23年3月末までの期間限定で開設しているアンテナショップで、現在、三鷹市と姉妹都市及び友好都市の関係にある7つの自治体が出店しています。



▲三鷹市のアンテナショップで情報交換する津谷市長

北秋田市は、旧鷹巣町時代のホークスサミットの縁で、現在も三鷹市と災害協定を結んでいるなど交流があり、市内の5団体から約50種類の商品を出品しています。

同ショップは、駅前からすぐという立地条件の良さや、都会では手に入りにくいものが簡単に手に入るということから、来客数も増えているとのことで、都会に住んでいる方々のニーズにあった商品を提供できるよう情報交換を行いながら、北秋田市を売り込みました。

市では、10月開催の三鷹わくわくフェスタへの参加も予定しており、先月から出店している板橋区のハッピーロード大山商店街とれたて村とあわせて、今後もより積極的なPRを行います。